

## 第1学年2組 道徳科学習指導案

場所 1年2組教室 指導者

- 1 題材名・内容項目 「ありがとうがいっぱい」 ・ B 感謝
- 2 本時の目標  
身近な人にお世話になっていることに気付き、感謝の気持ちを伝えたいという気持ちをもつことができる。
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	1 「ありがとう」と言った経験を発表する。 ・友達が鉛筆を拾ってくれた時 ・誕生日プレゼントをもらった時	・「手伝ってもらった時」など児童の発言が抽象的な場合は「誰に？どんなふうに？」などと問い返し、より具体的に想起できるようにする。
課題 (2)	どんな人にありがとうをいいたいかな	
展開1 (8)	2 「ありがとうがいっぱい」を読み、自分が世話になっている人を探す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校</span> ・保健の先生 ・用務員さん <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いえ</span> ・お母さん ・おじいちゃん <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町</span> ・地域ボランティアさん	・友達ではなく世話になっている大人に焦点を当てるよう促す。 ・様々な場に目を向けることができるよう、意見を場面ごとに分けて板書し、「学校」「いえ」「町」のフラッシュカードを黒板に掲示する。
展開2 (15)	3 お世話になっている人とどんなことをしてくれているかをスクールタクトに記入する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町</span> 見回りさんが学校まで安全に送ってくれる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校</span> 校務員さんが木を切って学校をきれいにしてくれている。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いえ</span> お父さんが家族のためにいつもがんばってお仕事をしてくれている。	・活動1、2を基に自分事として捉えられるように、「誰に、どんなありがとうを言いたいかな？」と発問する。 ・世話をしてもらっている人を具体的に思い描けるように学校職員や地域ボランティアの方の写真を掲示する。 ・様々な場で世話になっていることを感じられるように、 <u>スクールタクトの画面を「学校」「いえ」「町」に分けて配付し、適宜助言する</u>
展開3 (5)	4 お世話する側の気持ちを考える。 ・安全に登下校してくれたら嬉しい。 ・たくさん食べて元気に大きくなってくれるといいな。	・大人も子供の成長を願っているということを伝えるために、写真や動画を見せる。
整理 (12)	5 お礼を言いたい人への手紙を書く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・お母さん、毎日朝早く起きてご飯を作ってくれてありがとう。</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・保健の先生、けがをした時に優しく話を聞いてくれてありがとう。</span>	・児童の感謝の気持ちを高めるために、「みんなにできることは何があるかな？」と問いかける。 ・うまく書けない児童には、スクールタクトを振り返り、世話になった経験を思い出すよう助言する。

### 4 評価

身近には自分を支えてくれているたくさんの大人がいることに気付き、感謝の気持ちを伝える手紙を書くことができたか。

(活動3の発言や様子、活動5の手紙の内容から)